

## 前回委員会における需給・価格見通しと実績の対比

1. 前回の委員会（平成22年7月8日）で示した夏秋キャベツの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（10月下旬時点）	備考
夏秋キャベツ （7～10月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作付面積は、微増。</li> <li>・ 生育状況は、3～4月の天候不順の影響でやや遅れたが回復傾向。</li> <li>・ 今後、気象が平年並みに推移すれば、前年を上回る可能性が高い。</li> <li>・ 価格は、前年より低めで推移する可能性が高い。</li> </ul>	<p>（入荷量）</p> <p>7月は、群馬、岩手県産が春先の低温及び日照不足の影響で前年よりかなり入荷減となり、8月は群馬、岩手県産が降雨と高温の影響で小玉傾向となり、前年をやや下回る入荷となった。9月は高温の影響を受けた岩手産の成品率が悪く前年をやや下回る入荷量となり、10月は、千葉産が低温で作業が遅れたことからかなり入荷が減少した。全体としては、前年をかなり下回った。</p> <p>（7月～10月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：91）</p> <p>（価格）</p> <p>7月は天候不順の影響を受けて入荷の大幅減となったことから前年を大幅に上回った。8月中旬から9月上旬は入荷減ながら、前年より安値で推移したが、9月中旬から前年を超え、10月は、上旬は岩手、北海道産が少なく価格高騰し、中旬には群馬産の二期作が増えて一旦落ち着いたが、後半には関東が遅れた影響が出て再び価格は高騰した。全体としても前年を大幅に上回った。</p> <p>（7月～10月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：123）</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。



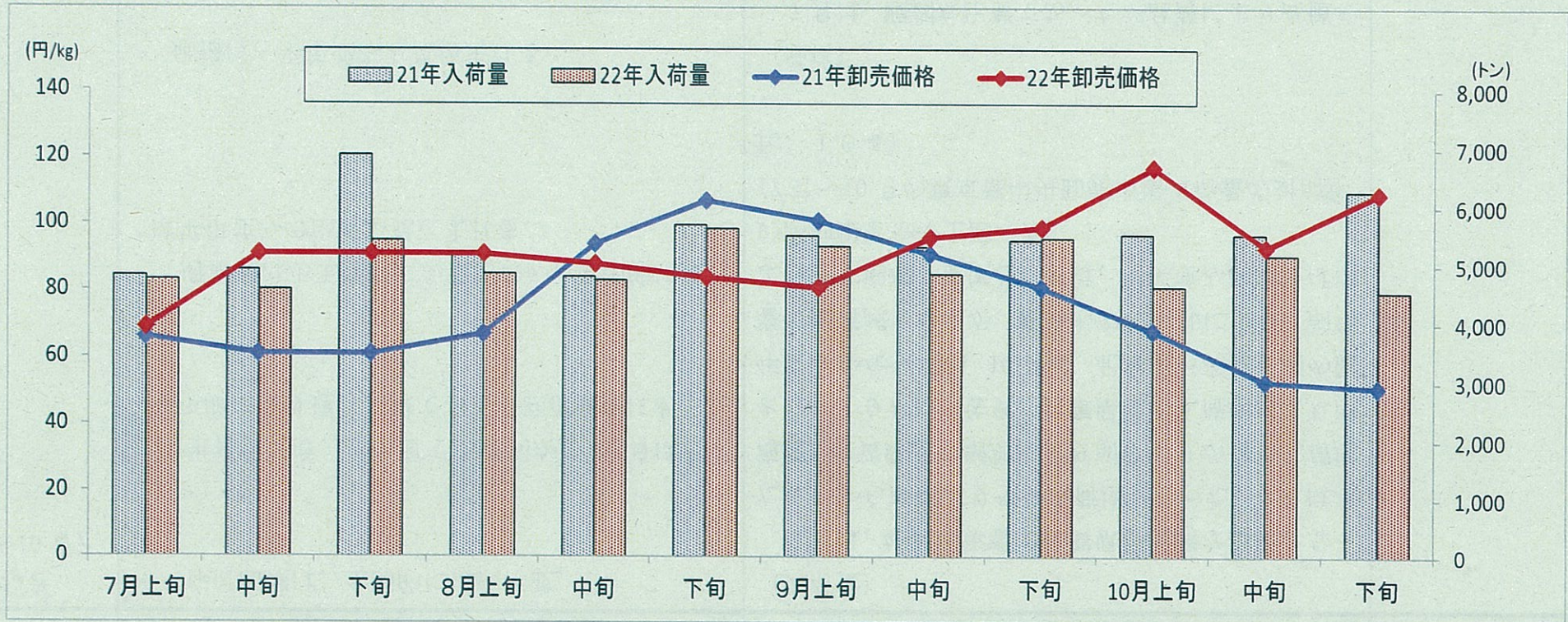
(参考1)

○22年産夏秋キャベツの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	7月			8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	99	93	79	94	99	99	97	91	101	84	93	72	91
価格	105	149	149	136	94	79	80	105	122	172	175	214	123

(参考2)

○22年産夏秋キャベツの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）





2. 前回の委員会（平成22年7月8日）で示したたまねぎの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（10月下旬時点）	備考
<p>たまねぎ (7～10月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作付面積は、全国的には前年並。</li>   <li>・ 生育状況は、北海道で1週間から10日ほど天候不順により遅れ気味であるが回復傾向にある。</li>   <li>・ 府県産は小玉傾向にあるものの、全国的に見れば平年並みの出荷が見込まれる。</li>   <li>・ 価格は、平年並みと見込まれる。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <p>7月は、好天の影響で佐賀県が順調な出荷となったことから前年よりやや入荷増となった。8月は北海道、佐賀県産の増加により前年よりかなり入荷増となり、9月は、佐賀、兵庫県産の入荷増により前年よりかなり増加、10月は、北海道が高温多雨の影響で出荷減となるが、輸入ものの増加により、前年よりやや増加、全体としては、平年並みには及ばないが前年をやや上回った。</p> <p>(7月～10月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 104)</p> <p>(価格)</p> <p>7月は、順調な出荷であったが品薄により高値で推移した。8月は入荷増に伴い価格は前年を大幅に下回った。9月以降は、北海道産が小玉傾向で入荷が伸びず、価格は上昇基調となり、10月は前年を大幅に上回った。全体としては高値であった前年並であった。</p> <p>(7月～10月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 99)</p>	

注) 「実績」については、「東京都および大阪市中心卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。



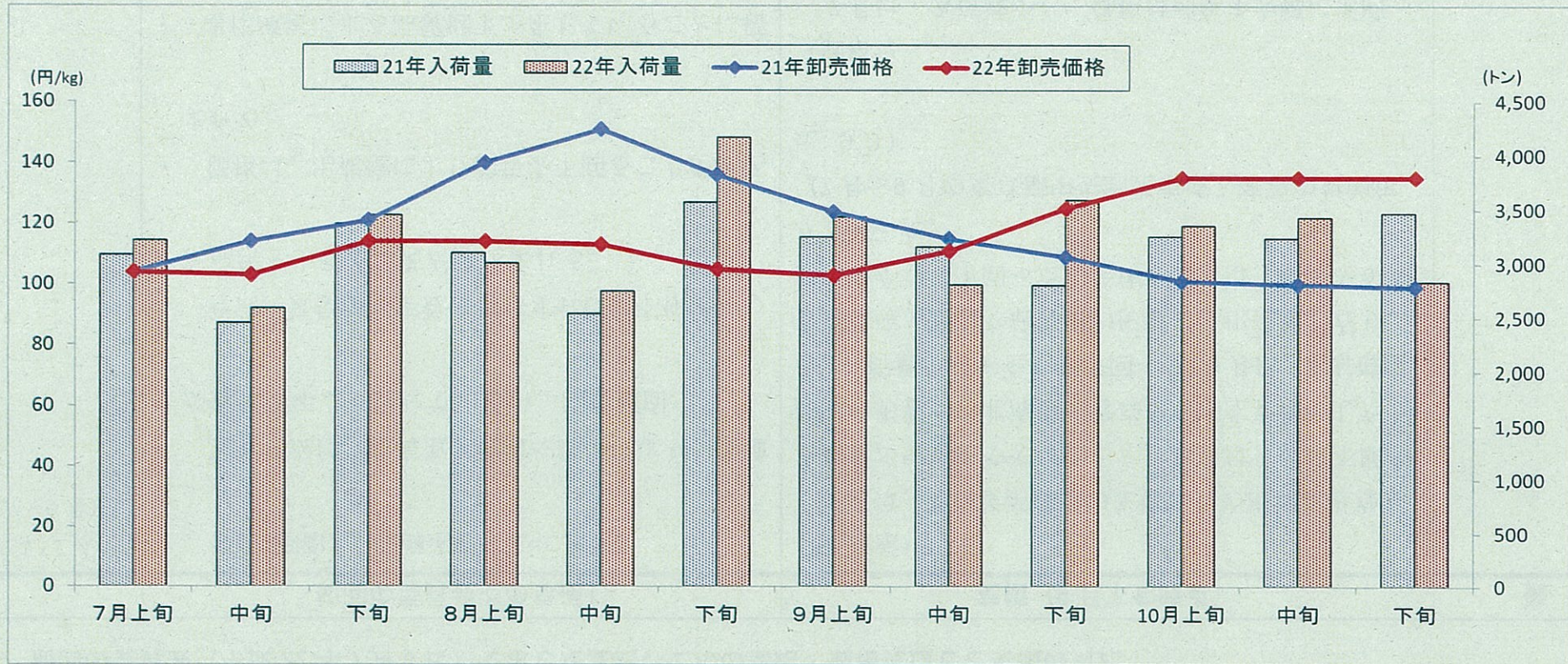
(参考1)

○22年産たまねぎの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	7月			8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	104	105	102	97	108	117	106	89	128	103	106	82	104
価格	100	90	94	81	75	77	83	97	115	134	135	136	99

(参考2)

○22年産たまねぎの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）





3. 前回の委員会（平成22年7月8日）で示した夏だいこんの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（9月下旬時点）	備考
夏だいこん （7～9月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作付面積は、北海道を中心に微増。</li> <li>・ 生育状況は、北海道で低温や降雨により、播種が遅れ平年より遅れているが、回復傾向。</li> <li>・ 今後、気象が平年並に推移すれば、不作であった前年を上回る出荷が見込まれる。</li> <li>・ 価格は、出荷増により前年を下回ることが見込まれる。</li> <li>・ 連作障害による品質低下が生じていることに留意する必要がある。</li> </ul>	<p>（入荷量）</p> <p>7月は、青森産が多雨の影響のため出荷減となり、入荷量が前年をやや下回った。8月は、天候不順や高温の影響から北海道、青森県産が生育停滞したため、入荷量が前年をやや下回った。9月は、北海道産、青森県産が高温や病害虫の影響で、出荷減となり、前年をかなり下回った。全体としては、前年をかなり下回った。</p> <p>（7月～9月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：93）</p> <p>（価格）</p> <p>7月は、入荷減から、価格は前年を大幅に上回った。8月は、入荷量は前年より少なかったものの、価格が高かった前年をかなり下回った。9月は、前年よりかなり入荷量が減少したことから大幅に上回った。全体としては前年をかなり上回った。</p> <p>（7月～9月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：109）</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。



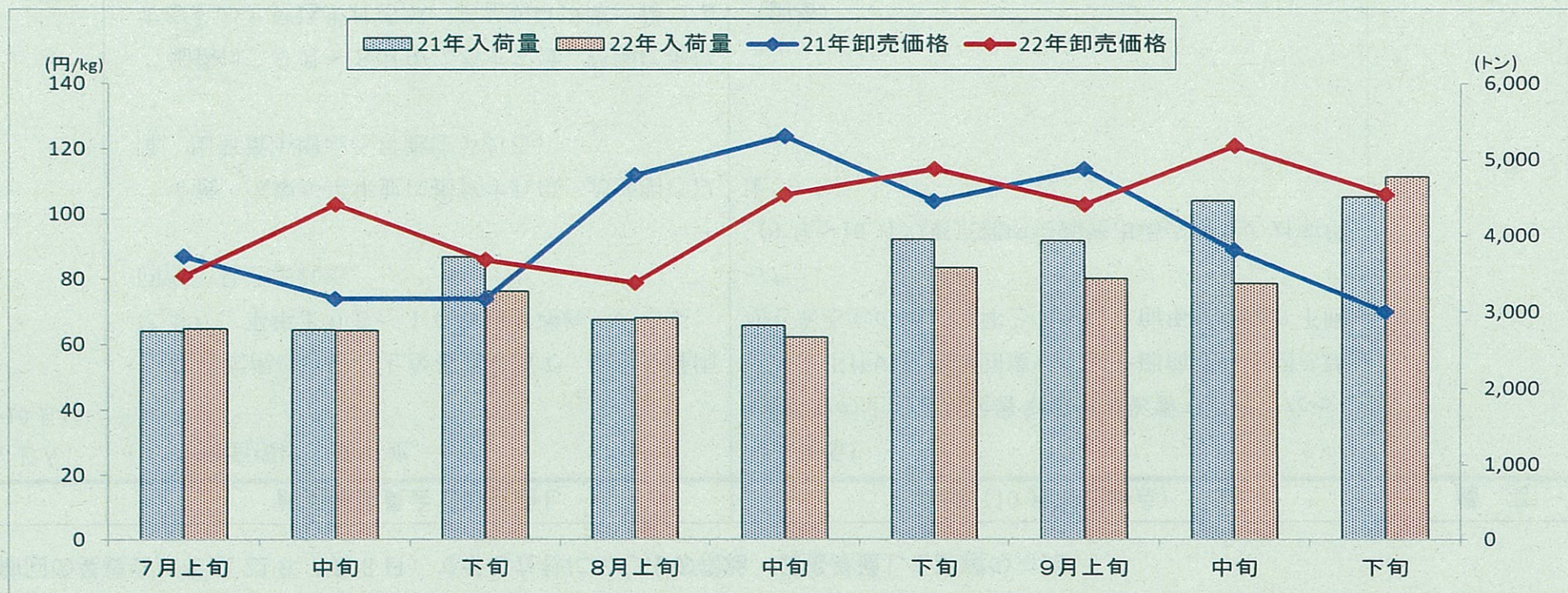
(参考1)

○22年産夏だいこんの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	7月			8月			9月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	101	100	88	101	95	90	87	76	106	93
価格	93	139	116	71	85	110	90	136	151	109

(参考2)

○ 22年産夏だいこんの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）





4. 前回の委員会（平成22年7月8日）で示した秋にんじんの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（10月下旬時点）	備考
秋にんじん （8～10月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作付面積は、前年並。</li> <li>・ 生育状況は、中心となる北海道で、低温や降雨により、平年より5～10日程度遅れているが、回復が見込まれる。</li> <li>・ 今後、気象が平年並に推移すれば、お盆明け以降、出荷量が増える可能性がある。</li> <li>・ 価格は、7月～8月中ごろまでは、堅調に推移するものと見込まれるが、お盆明け以降、特に9月に入り、厳しい状況となることが見込まれる。</li> <li>・ 需要面では、加工用の需要が増加することが見込まれる。</li> </ul>	<p>（入荷量）</p> <p>主産地の北海道が猛暑や多雨の影響で不作となったが、不作の状態が回復せず、一部前年を上回る時期もあるものの、全体としては、前年をかなり下回った。</p> <p>（8月～10月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：93）</p> <p>（価格）</p> <p>主産地の北海道の入荷減の影響から、前年を下回る水準で推移し、全体としても、前年を大幅に上回った。</p> <p>（8月～10月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：128）</p>	

注）「実績」については、「東京都および大阪市中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。



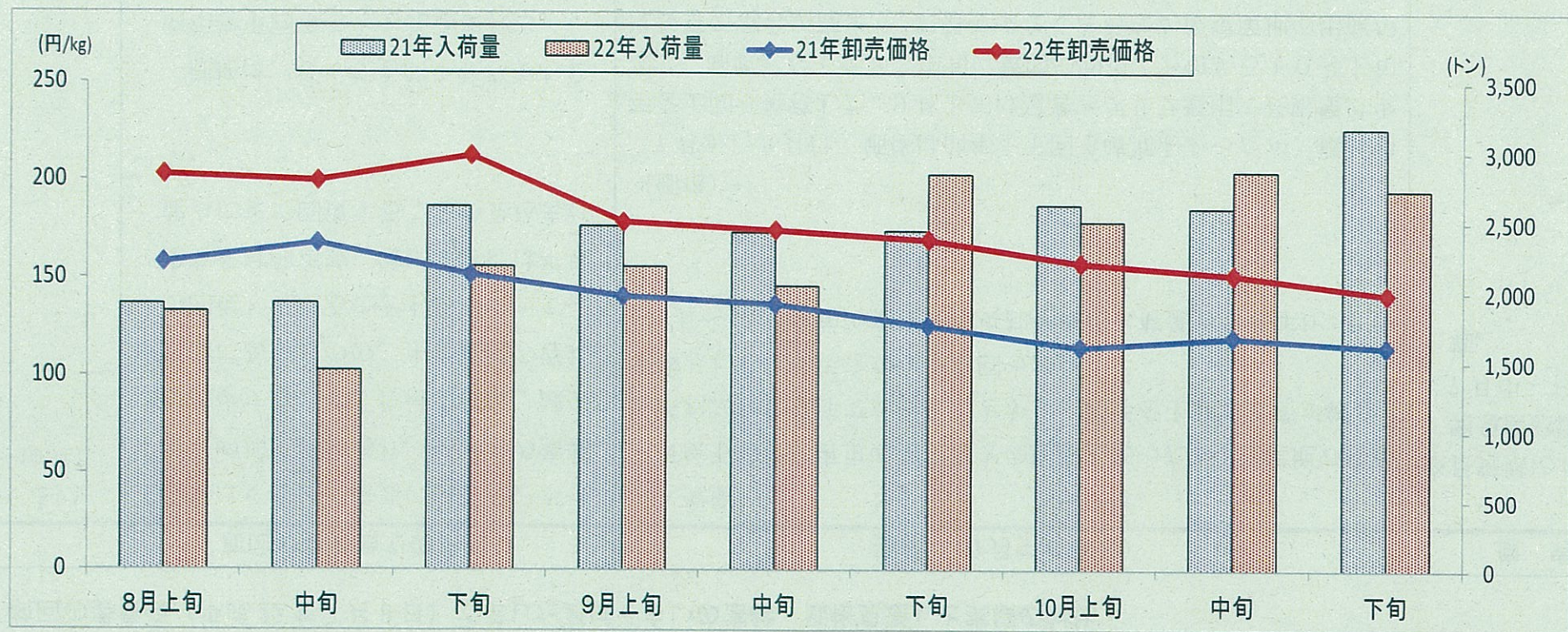
(参考1)

○22年産秋にんじんの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	97	75	84	88	84	117	95	110	86	<b>93</b>
価格	128	119	140	127	128	135	137	127	123	<b>128</b>

(参考2)

○22年産秋にんじんの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）





5. 前回の委員会（平成22年7月8日）で示した夏はくさいの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（10月中旬時点）	備考
夏はくさい (7～10月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏はくさいの需要のほとんどがつけもの加工用であり、つけもの需要が減少する中で、作付面積は、減少傾向にあるものの、生育状況の遅れが回復していることもあいまって、出荷量は前年並、特に9月には前年並みにまで回復することが見込まれる。</li> <li>・ 価格は、高くても前年並みであり、前年を下回ることも見込まれる。</li> <li>・ 今後は、加工用・業務用の需要に対応した需給バランスの確保（計画生産）がより一層重要となる。</li> </ul>	<p>(入荷量)</p> <p>天候不順や病害虫の発生などの影響もあったが、主産地の長野県がおおむね豊作であったことから、前年を上回る入荷が続き、全体としては前年をかなり上回った。</p> <p>(7月～10月中旬の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比: 109)</p> <p>(価格)</p> <p>7月から8月は、価格は前年を下回る時期もあったが、概ね前年を上回り推移した。9月上旬は猛暑とゲリラ豪雨で長野産は少なく、高値となったが、中旬は量的に回復。下旬から10月上旬は長野の割合が高まり、終盤で少なくなるなか後続産地の出荷が遅れたため価格は再び高騰。中旬は高値の反動で下落した。</p> <p>全体としては、前年を大幅に上回った。</p> <p>(7月～10月中旬の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比: 128)</p>	<p>※長野県において、緊急需給調整を7月中・下旬に実施。</p>

注)「実績」については、「東京都および大阪府中央卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。



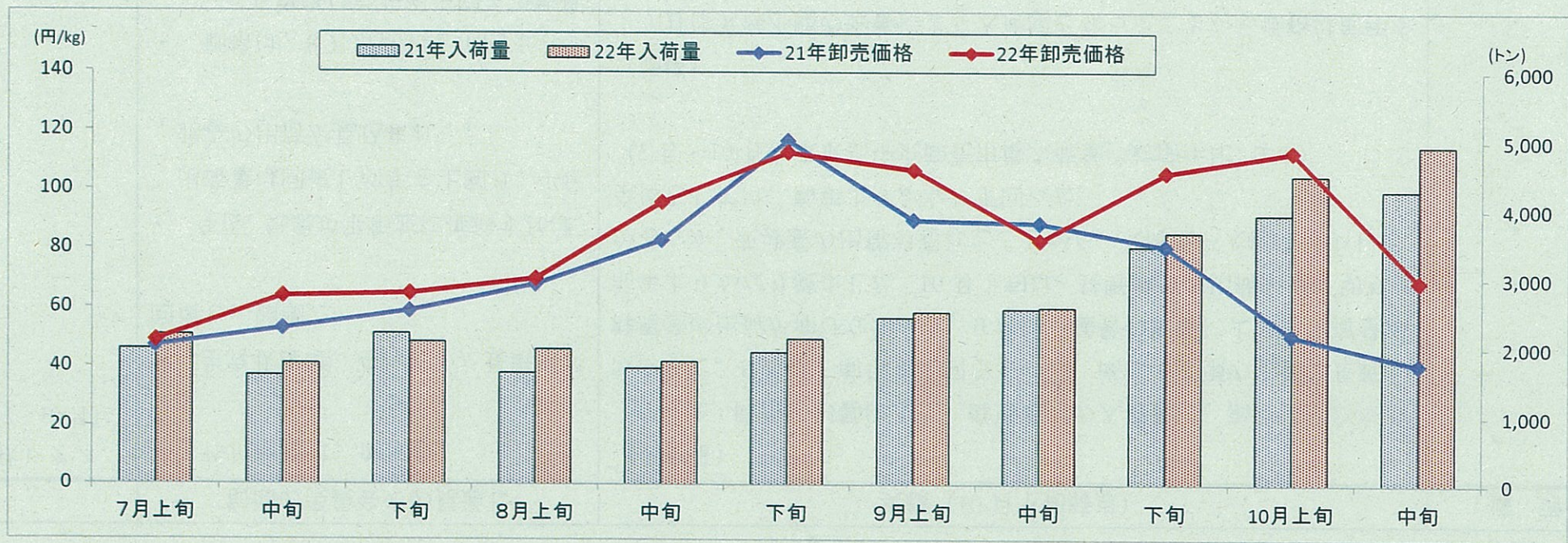
(参考1)

○22年産夏はくさいの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	7月			8月			9月			10月		期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	
入荷量	111	111	95	121	106	110	103	101	106	115	115	109
価格	104	121	110	103	116	97	119	93	131	222	168	128

(参考2)

○22年産夏はくさいの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）





6. 前回の委員会（平成22年7月8日）で示した夏秋レタスの需給・価格見通しと実績の対比

	前回の委員会での見通し	実績（10月下旬時点）	備考
夏秋レタス （7～10月）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 作付面積は、前年並。</li> <li>・ 生育状況は、遅れていた長野県が回復し、順調。</li> <li>・ 今後、気象が平年並に推移すれば、出荷量は回復し前年を上回り、平年並みの出荷が見込まれる。</li> <li>・ 価格は、8月は前年を下回るものの、9月以降は前年を上回る可能性がある。</li> </ul>	<p>（入荷量）</p> <p>7月は、降雨の影響により、群馬県産の入荷量は、前年よりかなり減少した。8月は、前年を上回るものの、高温や豪雨の影響で長野、群馬産の出荷が伸びなかった。9月は、猛暑の影響により、出荷量が前年よりかなり減少した。10月上旬は、長野県産の出荷が早く切り上がるなか、茨城産の出荷が遅れたことから、入荷量が大幅に減少した。全体としては、前年よりかなり下回った。</p> <p>（7月～10月の東京都中央卸売市場入荷量の対前年比：92）</p> <p>（価格）</p> <p>7月は天候不順の影響により入荷減となったことから価格は前年を大幅に上回った。8月は、前年を上回る時期もあるものの、高値で推移し、9月は、入荷量の減少により、前年を大幅に上回り、10月上旬には大幅な入荷減から価格が高騰した。全体としては、前年より高騰した。</p> <p>（7月～10月の東京都中央卸売市場卸売価格の対前年比：153）</p>	

注)「実績」については、「東京都および大阪市中心卸売市場における入荷量・価格の動向」等をもとに作成。



(参考1)

○22年産夏秋レタスの入荷量と価格の前年比（前年を100とした場合の指数、東京都中央卸売市場）

	7月			8月			9月			10月			期間計
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
入荷量	94	106	86	91	118	118	99	86	87	61	103	73	<b>92</b>
価格	124	116	170	115	80	96	126	121	226	631	230	176	<b>153</b>

(参考2)

○ 22年産夏秋レタスの旬別卸売数量と価格の推移（東京都中央卸売市場）

